

地域計画

策定年月日	令和6年3月29日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	白石市 (42064)
地域名 (地域内農業集落名)	越河地区 (越河集落、平集落、五賀集落)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	163 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	133 ha
② 田の面積	131 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	16 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	2.6 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	70 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	24 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は農業者の平均年齢が68歳と高齢化が進んでおり、現在耕作している農地も将来的に遊休農地となる可能性が懸念されることから、喫緊で今後の農地管理をどのようにしていくか、地域住民を交えながら話し合いを進める必要がある。

また、基盤整備事業から40年以上が経過し、当初の計画と違う形で営農している農地が見受けられ、それにより当初想定していたため池の貯水量では全体を賅うことが出来ず、常時水不足となる水田が見受けられる。

その他にも、山間部では有害鳥獣による被害が深刻化しており、抜本的な対策が必要となっている。

【地域の基礎的データ(令和5年度アンケート回答者数を基に算定)】
 農業者:130人(うち50歳代以下5人)、法人0
 主な作物:水稲

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当地区は水稲栽培が9割以上を占めており、昨今の米価下落の影響を非常に受けている地区である。そのため、主食用米だけでなく、飼料用米や畑地化等への転換に関する情報収集並びに、水稲直播栽培やICT機器を活用した水管理システムの導入等、地区と行政が一体となり、農家への支援並びに農地の新たな活用方法を検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現在、越河地区で営農をしている担い手同士で耕作、管理がしやすいように農地の交換を行うことを目指し、土地所有者との調整を行う。なお、その際には現在の契約の主流である物納から金納への移行を促す。 また、現在常時水不足となる農地についても、抜本的な解決策が必要であり、農業用ため池の浚渫や管理方法について今後10年間で検討、実行する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	37 %	将来の目標とする集積率	50 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現在越河地区で水田高度利用団地化推進事業補助金を受けているのは1団地、1.25haとなり、(1)にて記載のとおり、農家同士で耕作、管理しやすいよう農地の交換を行うことで、団地面積の増加を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
越河地区では各集落に代表的となる担い手があり、その人たちを中心として農地の集積・集約を目指す。なお、集積・集約を推進するためには土地所有者との調整が不可欠であり、その為には営農技術、及び賃借料等を標準化する必要があるため、引き続き地区内での話し合いや研修活動等を行っていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
現在、利用権設定で契約を結んでいる農地が大半であるため、更新の際に農地中間管理機構の活用を促し、段階的に農地の集積・集約を進める。また、農地中間管理機構は金納のみとなるため、地区内での物納から金納への移行を促す。
(3)基盤整備事業への取組
計画範囲の農地は昭和47年～昭和57年にかけて、水路等は平成11年～平成20年にかけて基盤整備事業を実施しているが、実施から時間が経つにつれ水かかりや水路の崩落等の問題が出ていることから、地区内で話し合いを行い、多面的機能支払い交付金等を活用しての水路の復旧作業を進める。 また、当初の計画と実態が違うところがあり、計画したため池の貯水量以上の水が必要となっている。それにより常時水不足となっている農地があることから、解消に向けて今後検討を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
越河地区内で新規就農や法人化の動きが出ていることから、今後も白石市、大河原農業改良普及センター、みやぎ仙南農業協同組合等の関係機関との連携を密に行い、越河地区の農地が集積・集約できる事業体へ成長できるよう、相談から定着まで切れ目のない取り組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
現在、農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託を行っていないが、今後どのような事業があるのか、越河地区内で活用できるのか確認、検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

鳥獣被害防止対策については、電気柵の設置で被害防止を図るとともに、白石市猟友会との連携による駆除を進める。特にサル・イノシシ等の農作物へ重大な影響を及ぼす恐れが高い有害鳥獣については、関係団体と協力し被害防止計画を立て、被害防止を進める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利害関係者にのみ公開									
計	64経営体		91.2 ha	0 ha		93.8 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)